

長い夏休みが終わり、今日から 2 学期が始まります。夏休みは自分軸で計画通りに過ごせましたか。

この夏の小田高生の活躍の一部を紹介します。トランポリンの全国大会に出場した都竹さんは、見事 5 位に入賞しました。日頃の努力が報われました。同じく将棋の全国大会へ出場した亀谷さん、水泳の近畿大会へ出場した大西さん、やはり全国、近畿となるとレベルが高かったですね。予選の壁は厚かったです。しかし、あなたたちはまだ 2 年生、1 年生です。まだまだ、チャレンジするチャンスはあります。このメッセージは 2 人だけではなく、全校生徒の皆さんにも届けたいのですが、チャレンジが次への扉を開きます。成功や失敗は、皆さんにとって大きな糧となります。上手くいった成功は次へのステップへと背中を押してくれます。逆に上手くいかなかった悔しさは、自分はまだまだだという学びを持たらせ、人を成長させます。Life is challenge. 人生は挑戦です。生涯にわたって挑戦し続ける、そんな力の礎をこの小田高校で培ってください。

続いてオーストラリア研修です。33 人の人が参加しました。現地のホストファミリーの人達との交流をはじめ、日本ではできない体験をたくさんしました。参加した皆さんの学びにするのはもちろんですが、その学びを多くの小田高生の皆さんへも広げるアクションも忘れないでくださいね。

その他、①オープンハイスクールにおいて、中学生やその保護者に暑い中でいねいに対応してくれました。その姿に中学生達は憧れています。憧れられることで人はまた成長するのも知れませんが、②また、尼崎市で開催された、人権に関する兵庫県の大きなイベントである「ひょうご・ヒューマンフェスティバル」においても、ボランティアとして参加した皆さん、放送部の皆さん、積水チャレンジャーズの外国人選手の通訳を見事にこなした 1 年生国際探求学科の石川さん、谷口さんが大活躍しました。③看護医療・健康類型の皆さんによるスマホ教室受講者は、丁寧な対応でスマホで体調管理ができ安心して過ごせるようになったと直筆で感謝の手紙をくれました。④日中の暑い中、道路で倒れていた高齢の男性に対し、救急車が来るまで適切に対応した 3 年生の井上さん、中田さんへも、尼崎東消防署より大絶賛のお礼の電話がありました。校長として誇らしい出来事の数々でした。

さて、3 年生の皆さんには夏休み前に「あなたたちは最強だ」というメッセージを送りま

したが、自分軸でやると決めたことをやりきることはできましたか。

具体的な進路先を決めるにあたり、色々と思悩んでいる人も多いと思います。例えば大学の魅力は知名度や偏差値にも反映されていると思いますが、本当に自分はそのに行きたいのか、そこに進んだ自分は生き生きとしているのか、大変なこともあるが楽しんでいるのかというイメージを大切にしてください。

よく受験は団体戦だと言われます。自分がやる気が出るポイントを知り、高め合える仲間と頑張り抜くことが大切です。でも進路実現に向けて熱い思いを持っていても、一人では気持ちがくじけることがあるかも知れません。そのような時は、この尼崎小田高等学校で、授業をはじめ、部活動や様々な学校行事において、一つの目標に向かって力を合わせて頑張ってきた仲間、信頼できる仲間達と、団体戦として臨んでください。

仲間が頑張っている姿を見て、自分も頑張ろうと思えたり、仲間の目標を知って自分も挑戦しようと意思を固めたり、一人ひとりがそのようなムードの担い手であり、励ます方、励まされる方の両方の働きをする。そういう意味での団体戦です。いいチームとして戦ってください。

2学期は大きな行事として体育大会や、2年生は修学旅行があります。これもまた、各クラス各学年でいいチームとして臨んでください。この夏で培ったものを土台にして、「今しかできないこと」「日々の生活」に全力で取り組み、充実した2学期を送って下さい。